

大井町線

<http://www.okajoki.com/>

D511
N.W. 551

2025

10

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし 4

会員雑詠集「無人駅」 7

■例月句会結果■

おかじょうき川柳社 9 月例句会 19

十和田たてがみ川柳会 8 月句会報 25

Infomation 28 ～

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！

というあなたへ

2 月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」と言っているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

【方法①】PC とプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すれば OK です。

【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することが出来ます。



【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することが出来ます。



【コンビニでのプリント参考価格】

A3 モノクロ 1 ページ：約 20 円／ A3 カラー 1 ページ：約 100 円

見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

カンテラ

むせし

酷暑続きで、あちこちに豪雨を降らせた夏もどうやら過ぎました。

会員の皆様、熱中症になったり災害に見舞われたりしなかったでしょうか？

何事もない、平凡な生活が一番いいのだとつくづく思った今夏でした。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

盆踊りみんな背負った荷と踊る

一帆

股関節勝手に踊り出しました

高木まあこ

四ツ屋いずみさんは何から「逃亡」するのでしょうか。

それはいいとして、私は「アーシング」なるものがありまして。もちろん広辞苑には出ていません。AIに聞くと『裸足や素手で大地に触れることで、体内に溜まった電磁波や静電気を放電し、身体のリズムを整える健康法です。カリフォルニア発祥の健康法であり「グラウンディング (Grounding)」とも呼ばれ、現代の電磁波に囲まれた生活で失われた自然との繋がりを取り戻すことで、疲労回復やストレス軽減、炎症の緩和、血行促進、睡眠の質の向上などが期待されています。』と答えてくれました。「逃亡」を成功させる為には、是非ともやっておくべきことなんですね。

B群

雨雲が近寄ってくる生きなくちゃ

守田啓子

力走の誰が見ている9番目

辻井洋子

この時を錆びないようにペンキ塗る

奥田悦生

認知症レベル一覧外は雨

熊谷冬鼓

鰯雲その中に居る一匹だ

坂本清乃

探し物これだったのかと思ひ出す

舟木小柳

夢もまた引き算だらけ高齢期

村上あつこ

テキトーで下品で困ったひとが好き

須藤しんのすけ

靴紐が三度解けて秋彼岸

土田雅子

褒め言葉もらって不眠症になる

夏草ふぶき

再会のための口紅買いに行く

亥の一

コスモスの海で火傷をしよう

葉 閑女

歩けない昨日の今日の闇の濃さ

吉田州花

逃亡の手始めにまずアーシング

四ツ屋いずみ

クリップで社会の陰部止めました

鳴海賢治

夕暮れの色に傾く曼珠沙華

柳本恵子

レモンの顔でサヨナラなんてズルイなあ

きさらぎ彼句吾

さつきから何いつてんの桃の汁

米山明日歌

米山明日歌さん、ぶつぶつ言う「桃の汁」は早く飲んでしまった方がよさそうですね。おなかをこわさないように気をつけて(笑)

C群

金色の雲刻々といななけり

戎 踊兵

広辞苑に載せちゃいけない「広辞苑」

三浦蒼鬼

ガンダムの一族郎党みな無臭

小野五郎

降参は小玉スイカを下げてくる

峯島 妙

朝陽が昇るまだゲジゲジがいる 潰す

芝岡かんえもん

戎 踊兵さん、「金色の雲」って外ヶ浜町にはよく出るの? 「金色の雲」も「いなくな」雲も見たことない

なあ。外ヶ浜町蟹田地区特有の「えびすぐも」ってのがありそう(笑)。「いなく」は「嘶く」だから、警報が出そう。あれ？オレ読み間違ってる？

三浦蒼鬼さん、不思議なことを考えますね。むさしの強い味方「広辞苑」は、確かに自分のことを載せていません。あれって「載せちゃいけない」項目だったのですか。ほかの辞書には載っていたりするんだけどね。

小野五郎さん、「ガンダム」に詳しいようですね。「ガンダム」は広辞苑に載っていません。ネット検索したら、『ガンダム』とは、1979年のテレビアニメ「機動戦士ガンダム」に登場する、人間が搭乗する人型ロボット兵器(モビルスーツ)のことです。』とAIが教えてくれました。私は「ガンダム」さんのことを存じ上げないのですが、「ガンダム一族」は汗の臭いはもちろん加齢臭なんて関係ないんでしょうね。うらやましい。

峯島妙さんのところには「降参」という方がよく来られるのですか？名字が「降参」なのかなあ、名前が「降参」なのかなあ。「小玉スイカを下げてくる」なん

て、ちょっと変わった方ですね(笑)その「スイカ」、毒入りじゃないですよ？

芝岡かんえもんさんのお宅には「ゲジゲジ」がいるのですか？「ゲジゲジ」は広辞苑に『げじ・げじ【蛭】(歴史的仮名遣は「げじげじ」とも)①(動)ゲジ(蛭)の俗称。②「季」夏。③忌み嫌われる人。「野郎」③「非」の字の形がゲジに似るからいう。非職の官吏の称。』と出て来ます。「ゲジ(蛭)」を更に広辞苑で調べると『げじ【蛭】(歴史的仮名遣「げじ」とも)ムカデ綱ゲジ目の節足動物の総称。床下、その他、暗い湿った場所にすむ。形はムカデに似て、体長約3センチメートル。15対の脚は非常に長く、触角と最後部の脚は特に長い。口器が発達し、小虫を捕らえて食う。人間に害はない。日本にはゲジ・オオゲジの2種が分布。げじげじ。』と出て来ます。かんえもんさんが潰した「ゲジゲジ」はこの中のどれでしょう。私は②だと思うのですが、もしかしたら、かんえもんさんの目の上に一匹ずついるあれかも(汗)

おかじょうき加柳社会員雑誌集

無人駅

★無人駅9月月間賞

素麺になつて流れて行くからね

辻井 洋子

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

水玉の玉の歪んでみえる夜
さつきから何いつてんの桃の汁
マス目から私食みだす昼下がり
わたくしを説教しだす骨の音
さよならにこむら返りをさせられる

先月号のお気に入り
再生紙の俺の鶴など飛ぶもんか 尾崎良仁
飛びますよ。私なんか、丸めた紙から飛ばしたこともあり
ますからね。

安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

電線に燕コンビニのイトイン
大切に浴びる涼風と風鈴
干天に重なるローズオブサハラ
真水は危険 海水にしてください
眠ったらダメを繰り返して眠る

先月号のお気に入り
虐待じゃないのか週末の雨は 三浦蒼鬼
週末 ゴルフとか、。

戎 踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

風向きが変わった 木の葉裏返る
金色の雲刻々といななけり
月並みな美だ 息を吞む夕日
変わらない景色に風は返り点
黙禱を捧げる母と娘 立ち葵

先月号のお気に入り
ほどほどにしろと月まで欠けてくる 斎藤泰子
どうもすみません。なんか嬉しくて、いつ迄も満月のつ
もりで踊っていました。

奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

この時を錆びないようにペンキ塗る
透明になり未来時間に入り込む
隙間から愛の言葉を届けます
あなたの綺麗な間に入りたい
白日夢エモーショナル・サマー昼の月

先月号のお気に入り
抱き合えばナイフの先の光る夜 米山明日歌
閻魔様は、どう裁く…境界を揺らすが刺さりました。わたし
にもそんな友が2人いました。ひとりは死んでしまっただけ。

帆【いちほ・秋田県秋田市】

さよならの数かぞえてる大花火
生きるって一人線香花火だね
盆踊りみんな背負った荷と踊る
太陽も雨も欲しいと夏祭り
濡れている尻尾 本当がばれる

先月号のお気に入り

亥の一【いのいち・青森県青森市】

街中に溢れるメロス土煙
トリクルダウン？引力不足でしょ
山道を登ってようやく登山道
詩の素にこの炎熱とカツカレー
再会のための口紅買いに行く

先月号のお気に入り
私の中の迷路をやって来たあなた むさし
ようこそ、冷たい麦茶と熱いおしほりをどうぞ

尾崎良仁【おざきりょうじん・千葉県船橋市】

毎日が猫の舌より気持ちいい
チャーハンと俺が背負っている差別
おっぱいの語源を調べ手を見てる
スッポンの首の太さよ青春よ
うの段に古希を置くのはどうだろう

先月号のお気に入り

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

人件費節約ムカデ募集中
メドウサの首から下が女偏
ガンダム一族郎党みな無臭
空気に触れて発火するアマゾネス
ムナカタが脱皮するところ見てしまう

先月号のお気に入り

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

黒い鳥赤い絨毯 秋あかね
シェーンには成れぬジョーイよ敗戦忌
背後から山の呪の風 終戦日
日月の愛と呪いだ母も君も
この夏も安吾の毒で甦る

先月号の
お気に入り

呻き声出すミサイルもあるはずだ 野沢省悟
拒否権をあげたい。

きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

数独なんてちやちやつと解いて空泳ぐ
青だらけの信号なんて生あくび
不適切なてにをはだけどあつたかい
パリッと乾かないサヨナラの余韻
レモンの顔でサヨナラなんてズルイなあ

先月号の
お気に入り

イルカほど飛べなかったな青春期 渡邊こあき
これからでも飛べますよ

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

半島の風に馴染んで日々暮らす
鰯雲その中に居る一匹だ
転んでは起きて転んで蟻つかむ
未来とはあの世と思う高齢者
腹ぺこの青虫キャベツ食い尽くす

先月号の
お気に入り

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

芳しきワインに辰砂ひとつまみ
姦計を孕んで華と瓶と銃
BANG! BOMB! BOMB! アザゼルたちの狂宴に
捕まえた蜥蜴の尻尾毒を食む
人形の頸折れたまま折れたまま

先月号の
お気に入り

帰ろっか私の部屋が待っている 斎藤泰子
今回一番すつと来ました。

熊谷冬鼓【くまがいたうこ・青森県青森市】

認知症レベル一覧外は雨
どしや降りにけぶる街路樹定期バス
命日は昨日だったと猫じやらし
まんじゅしゃげ苦労話は聞き飽きた
山枯れの拡がり前触れだと思ふ

先月号の
お気に入り

何してた？古古古古米が新米の頃 四ツ屋いずみ
ホントにねえ（笑）自分が新米だった頃も思っちゃいま
した。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

人間を三人産んだその誇り
いい空だわたしを飾ることもない
聞き捨てておく考えは動くもの
狂わねば見たいと思えない景色
散り際を汚さぬように気をつける

先月号の
お気に入り

五年後をテトラポットは応えない 熊谷冬鼓
一年後はどうだろう？そう思っ生きています。

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

弁慶のおくり絵に見る蟻地獄
胡瓜二本額でしめすラストラン
議事堂を走れば勝てる選挙戦
高すぎて買えないされどミニトマト
ダイヤの首輪質屋の妻の身だしなみ

先月号の
お気に入り

抱き合えばナイフの先の光る夜 米山明日歌
怖いですがね サスペンスドラマを観てるようです

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

こつちに投げてわたしの欲しい浮き袋
邪魔者がいる わたしの裏がわにも
縫い上げるしょうもない夜の傷口
朝陽が昇るまだゲジゲジがいる 潰す
釘をはめる 一つだけどうしても無理

先月号の
お気に入り

境界を揺らして友がやってくる 斎藤泰子
境界を揺らすが刺さりました。わたしにもそんな友が2
人いました。ひとりは死んでしまったけど。

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

認めたくないが七十と対峙する
髪染めて元気なババ演じざる
孫と行くプール三時間で悲鳴
言うことは聞かぬ素直な反抗期
どんなに暑くても孫のカエル採り

先月号のお気に入り
ぐうたらな一日ばかり過ぎていく まみどり
ぐうたらだと思えるうちは、大丈夫。思わなくなるかも？

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

舌先で舌にのの字を書き綴る
筆談が上手いサラリーマンの髭
あきらめて心音を聞く隠れ宿
テキトーで下品で困ったひとが好き
センサーの骨の湿度を確かめる

先月号のお気に入り
わが膝へ初夏の青さと縦結び 吉見恵子
目にも鮮やかな新緑の青と、逆さごととしての縦結び。
どちらも膝に効きそうですね。

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

フルーツパフェ飛んだわ異国へ行った
本当にいじつてません綱渡り
何にでも手を掛けると美しくなる
冬の鳥たちよ波動に負けないで
ああ平和お隣のスズムシたちよ

先月号のお気に入り
終点をここにしたらのか流木よ 熊谷冬鼓
ヒトも同じワタシも流されて、。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

自己愛の強さがわかる計量器
のぼり坂爪を伸ばすかチョン切るか
デンワとる太陽ですか月ですか
カナリヤのハスキーボイス魅力的
力走の誰か見ている9番目

先月号のお気に入り
鍛えなきや季節について行かなくちゃ まみどり
本当にね、この夏の暑さは鍛えてないかね！

高木まあこ【たかぎまあこ・青森県黒石市】

あれもこれも減りそれどれも増えるんだな
コーシヨキョーフ症 尾根伝いするわよ
股関節勝手に踊り出しました
転げる胸 降り続ける雨 やっぱり
迷い路 迷い迷って夢人中

先月号のお気に入り
何してた？古古古古米が新米の頃 四ツ屋いずみ
そうね……その頃は……

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

言い訳をすればするほどクレッツシエンド
激辛のスパイスだった大誤算
潔い矜持を見せるシュレツダー
失言へボロボロ崩れ出す牙城
犬よりもドデカイ声で犬吠り

先月号のお気に入り
秒針がゆっくり進む午前2時 村上あつこ
深夜になればなるほど落ちて着いてベンが走る。丑三つ時
がいちばんいいかも…。

土田雅子【つちだまさこ・青森県青森市】

職務全う軽自動車を手放した
月命日幾度通った墓詣で
家じまい最期の力ふりしぼり
三世代の歴史を抱いて 昇天
靴紐が三度解けて秋彼岸

先月号のお気に入り

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

褒め言葉もらって不眠症になる
時短だと心の距離が空いていく
流行を追わない私の席がない
正論が小さな棘を纏ってる
暴言と無関心って瓜二つ

先月号のお気に入り
空っぽにしても沈んでいくんだね 熊谷冬鼓
空っぽなのに重い句ですね

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

嘘をつくつかないときは空青い
死んだふり生きているふりイトミミズ
賽銭をあげたら熊がいなくなる
クリップで社会の陰部止めました
点と点むすぶ境界線できた

先月号の
お気に入り

生返事が続く助走が続く 雨季
リズム感が小気味よい。雨季がよかった。
守田啓子

舟木小柳【ふなきこりゅう・青森県青森市】

セカンドオピニオンも また『加齢』です
延命を望まぬ明日は健診日
目覚ましを止めて再び極楽へ
探し物これだったのかと思ひ出す
誕生日消そうローソク七十本

先月号の
お気に入り

日本には銭湯があり生き返る
銭湯大好き人間の私。全く同感です！
城後朱美

まきこ【まきこ・青森県青森市】

ここいらで私の手から飛ぶわたし
おいおい一緒に言うと言ったのに
観てたのねここから先は君次第
費用はあなた払いよいいわね
言わないことが花だと知った夜でした。

先月号の
お気に入り

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

バリアフリー軽い言葉にだまされて
人力を頼りに辿り着いたけど
階段の下であきらめモードです
ポップコーンみたいにお隣りの花火
できるなら打ち上げられて浮遊物

先月号の
お気に入り

エプロンに代わりたくないワンピース
はい、着こなしに気をつけます。
安藤なみ

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

伸びきったゴムを引っ張る猫の爪
人慣れができない人の深い海
広辞苑に載せちゃいけない「広辞苑」
蹠のあたりで振り出しに戻る
楽しい実食べたら老人になれる

先月号の
お気に入り

峯島妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

誰にでも傷ある夜のスガシカオ
意味深なラストノートのある指輪
降参は小玉スイカを下げてくる
耳抜き之苦手なボクの泳ぎ方
賑やかでやがて切ないサンセット

先月号の
お気に入り

空っぽにしても沈んでいくんだね
このスンとした寂しさをどうしたものでしょう。
熊谷冬鼓

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

マラソン完走 航海図は未完
うたた寝は水の匂いのする手紙
向日葵のくせに幸せそうな顔
もののふは刹那あたしの長い夏
鹿屠る話くちびるなぞる指

先月号の
お気に入り

五年後をテトラポットは応えない
応えてくれなくても語るのが大阪のおぼちゃん
熊谷冬鼓

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

血圧が諦めるなと午後上がる
もう一人欲しい今更妹が
どう生きるどれだけ腹を立てないで
本棚が三分の一空く整頓
孤独のすすめそんな余裕はありません

先月号の
お気に入り

灯台になるまで鳥になるまで
振り返ると青森県の柳界の灯台だったのが岸柳先生でした。
次はどなたかというんな想像しやいます。
守田啓子

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

似たもの同士のトランプとプーチン
詐欺メールで受信ボックス溢れてる
古希過ぎてあつという間に喜寿傘寿
夢もまた引き算だらけ高齢期
戦前でないこと祈る終戦日

先月号の
お気に入り

幸せの規定打席に足りません
芝岡かんえもん
幸せに規定打席が必要だったんだ。知りませんでした。

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

ミニトマトきらら反省点三つ
やりたいことリストにアレも追加する
雨雲が近寄ってくる生きなくちゃ
ゲームオーバー自分を好きになりそうで
全身を揺すってランブくれた人

先月号の
お気に入り

きゅうりから見て理不尽な論理でも
宮井いずみ
自己中に警告ですね。。。気をつけなくっちゃ。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

歩けない昨日の今日の濃さ
朝昼晩定時に食べて不幸せ
額のひまわりそつぽを向いた向いたまま
わがままを一輪ずつの花に問う
バリ島へスマホで巡り病みあがり

先月号の
お気に入り

プレミアム商品券つき島流し
小野五郎
商品券に使用期限はありますか？

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

新盆の胡瓜の馬にあたう水
絵蠟燭 ひとりの時間発光す
昼と夜ゆるく象る紙鉄
稲光り 一万二千の核弾頭
まだこの世炎暑地獄にハスの花

先月号の
お気に入り

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

アサガオの横の日向を持て余し
水ナス漬けて免許返納する話
スニーカー並べて旅へスタンバイ
惜しみなく散って真紅の百日紅
夕暮れの色に傾く曼珠沙華

先月号の
お気に入り

泣きはしませんが心は水びたし
きさらぎ彼句吾
あるある・・・そんな日は・・・

葉 閑女【ようかんによ・青森県青森市】

ブナの木が大空になる八時半
五時間目のバスださつさと乗りなさい
コスモスの海で火傷をしてしまう
残暑↓惨暑 ことしも秋はないのかも
オーボエの音色肴に酌む地酒

先月号の
お気に入り

言えるほど重病人じゃないけれど
まみどり
でも、あちこちガタが来てるんですよ。

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

地球ごと踊らされてるよね、やつぱ
ふい謝罪かぼちゃ色の三日月に
見守られてたぽつねん 盆の朝夢
逃亡の手始めにまずアーシング
甘雨に紛れ出ておいで懐かしい影

先月号の
お気に入り

幸せのゼリー固まるのが苦手
芝岡かんえもん
だから、プルプルのゼリーを食べるところけるんですね。
納得！

むさし【むさし・青森県蓬田村】

AIよ竜宮城はどこですか
鼻が痒くて海を見ているモアイ像
ねぶた囃子の風に吹かれて飲むばかり
今日という未来の裾を踏みしめる
じいさんの貌でじいさんやっている

西日だし

9月6日(土) 午後2時～ アウガ5F 小会議室

▼出席者(13名)

葉閑女・きさらぎ彼句吾・野沢省悟・守田啓子・まきこ・
むさし・熊谷冬鼓・田中薫・渡邊こあき・夏草ふぶき・ま
みどり・須藤しんのすけ・高木まあこ

▼投句者(22名)

安藤なみ・芝岡かんえもん・柳本恵子・米山明日歌・村上
あつこ・斎藤泰子・小松憲一・郷田みや・舟木小柳・峯島妙・
宮井いずみ・鳴海賢治・笹田隆志・戎 踊兵・一帆・坂本清
乃・吉田州花・土田雅子・城後朱美・嵯峨山登・三浦蒼鬼・
村井規子



課題と選者(2句詠・共選)

題:『庫』

11/30 〆切

選者

兵頭 全郎 (大阪府)

むさし (青森県)

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

[投句フォームを開く](#)

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

[メールで投句する](#)

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料 (※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000 円

◆振込先: 郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

席題『秋』

青森県青森市

葉 閑女選

【佳作】

秋びようびよう美しすぎる女です まきこ
 秋彼岸墓の微熱を拭きに行く 夏草ふぶき
 螳螂が優しさ生んで冬を待つ 高木まあこ
 あれつきり秋を探しに行った君 まみどり
 私の心模様は散り散りに秋 高木まあこ
 黄葉させたのは気の抜けたくちづけ きさらぎ彼句吾
 前略のあとの芒の道に虹 野沢省悟
 小さな秋見つけてからの幸不幸 まきこ
 サンドルの踵でカマキリが死んだ 野沢省悟

さんま焼く煙に「あき」とルビを振る

『そんな光景を見たいですね。』

【特選】

嘘まともも紅を刷いてももう枯れ葉 きさらぎ彼句吾
 透析の腕で鳴いてる秋の虫 夏草ふぶき
 読み捨てられてからは野分立つ乳房 きさらぎ彼句吾
 オニアザミぽきんと折って逢いに行く むさし
 秋だもの心変わりの黒揚羽 高木まあこ
 手のひらの秋空流れ星放つ 須藤しんのすけ
 【秀逸】
 紅葉の谷底にある深い闇 渡邊こあき
 右足の気圧配置が秋である むさし
 秋という季節が死語にならぬよう 田中 薫

熊谷冬鼓

席題『秋』

青森県弘前市

きさらぎ彼句選

【佳作】

秋日和用もないのにするLINE 守田啓子
 小さな秋見つけてからの幸不幸 まきこ
 手のひらの秋空流れ星放つ 須藤しんのすけ
 風は秋小さな旅をしませんか 葉 閑女
 サンドルの踵でカマキリが死んだ 野沢省悟
 詐欺師からトンボのことを聞かれてる むさし
 萩・尾花・桔梗も咲いて七回忌 葉 閑女
 妹から川中島が届く秋 守田啓子
 前略のあとの芒の道に虹 野沢省悟

迷ったら楽しい秋って言ったよね

透析の腕で鳴いてる秋の虫

窓を開け秋を愛で心の宴を

一本の産毛が猫じゃらしになった

さんま焼く煙に「あき」とルビを振る

コスモスコスモス大儀になった下り坂

【秀逸】

私の心模様は散り散りに秋 高木まあこ
 オニアザミぽきんと折って逢いに行く むさし
 秋彼岸墓の微熱を拭きに行く 夏草ふぶき

【特選】

右足の気圧配置が秋である

『体で秋を感じるのも人生の秋…。』

むさし

宿題『拾う』

青森県青森市 まきこ選

【佳作】

遺言書一文字ずつの風拾う
落丁の窓からわつと赤とんぼ
つぶやきを拾う連帯保証人
歌舞伎座の裏で拾った夏蜜柑
母の財布を拾った人が僕の妻
大勢の影を拾ってみたけれど
複雑だなあ1円玉を拾う時
通院の途中で拾うふくらはぎ
虫の声拾いながらの帰り道
拾ったら火傷をするとかかる恋
捨石を拾ったことがあだとなる
捨てるはずだった上着をまた着てる
さつと拾う母がこぼしたご飯粒
ここまで拾った運で生きてきた

三浦蒼鬼
葉 閑女
郷田みや
笹田隆志
村上あつこ
夏草ふぶき
城後朱美
須藤しんのすけ
小松憲一
峯島 妙
鳴海賢治
葉 閑女
城後朱美
斎藤泰子

生きなくちゃさよならのらを拾うまで
父に拾われた傷だらけの夕日
尻尾を拾い自問自答の夜となる
けだものか影が分からぬもの拾う
拾ったか拾われたのか桃太郎
言葉じり拾えば寒い指の先
【五客】
満月を拾った日から眠れない
投げつけた言葉を拾う帰り道
辞書にない令和たずねて三千里
あの夏を拾いにいったままの兄
ハートの鍵を拾った人はいませんか
【人位】
拾われたことは忘れたふりをする
【地位】
断捨離の離の寂しさをまた拾う
【天位】
拾いものだった身体と半世紀
『なるほどですね。納得しました。』

守田啓子
守田啓子
野沢省悟
嵯峨山登
一 帆
米山明日歌
むさし
米山明日歌
葉 閑女
米山明日歌
村上あつこ
斎藤泰子
峯島 妙
嵯峨山登

宿題『負』

青森県三沢市 守田啓子選

【佳作】

負ける気がしないが勝ったことがない
陰キヤラの負のオーラには敵わない
受け流す術を知ってる吾亦紅
本日の負けを認める酸性雨
空蟬に背負うものなし百日紅
一人ぼっちが独りぼっちに負けている
ジャンケンに負けてかき氷になった
初恋は上手ひねりで転がされ
狼になってみたけど負けました
負けないと勝つの間にアンパンマン
負ける気はしない九月の膝小僧
だとしても負けるが勝ちじゃ踊れない
抱負など何もなかったガキのころ
海を見ている負けず嫌いの影法師

むさし
土田雅子
熊谷冬鼓
芝岡かんえもん
郷田みや
米山明日歌
野沢省悟
芝岡かんえもん
鳴海賢治
峯島 妙
斎藤泰子
三浦蒼鬼
葉 閑女
むさし

馬鹿だなあその一言に負けたまま
びよこびよこのよのスピードは負けてない
負けを知りどんどん芯が太くなる
負けたとは思っていないビンの蓋
あつさりと負けを認めた真珠貝
負けたのはじょんから節のせいかしら
【五客】
ソプラノで聴かせてあげる負け惜しみ
負荷だらけさあ引き潮に乗りましょう
この皺はいぶりがつこに負けていた
位負けしてから切手舐める役
柔らかな負け方お見せいたします
【人位】
言い返せなかった子どもだったから
【地位】
今日もまた上手に負けた雨ざんぎ
【天位】
挨拶を無視されてるし西日だし
『うまい!!これぞ「負」』

吉田州花
須藤しんのすけ
夏草ふぶき
土田雅子
安藤なみ
笹田隆志
まみどり
田中 薫
野沢省悟
きさらぎ彼句吾
まきこ
嵯峨山登
まきこ
夏草ふぶき

宿題『自由詠』

青森県青森市 夏草ふぶき選

【佳作】

定位置に戻ってこないハサミたち
くのいちが先祖なんですよしくね
血の臭いふんぷんしてる世界地図
「さよなら」のように吐き出すビワの種
人形になれば周りがよく見える
手から手へ幸も伝染するらしい
流れ星の尻尾捕まえて火傷
お詫びするなんて言うけど蜻蛉の目
熊だつてそろそろ反省してるはず
留め金の無いブラジャーにやられちゃう
最後まで笑っていたいタレパンダ
雨あがる銀河は母を受け入れる
激落ちくんあるしとだつてある
あつぷつぷポリバケツには負けました

渡邊こあき
まきこ
村井規子
米山明日歌
まみどり
斎藤泰子
一 帆
宮井いずみ
峯島 妙
一 帆
村上あつこ
斎藤泰子
宮井いずみ
野沢省悟

左手で右手のひらに「信」と書く
このボタン外せばきつと好感度
ログオフを済ませてからの起立礼
コスモスの海で鎖骨に触れてみる
配置図が変わつて一人波の中
知らずに研いでいた一途つて凶器

高木まあこ
芝岡かんえもん
郷田みや
熊谷冬鼓
一 帆
きさらぎ彼句吾

【五客】

粉末ジュース知つてた人にばれた嘘
生き抜いた轍を遺し友が逝く
膝屈伸忠誠心の合図です
どうしたらガザに届くか売れ残り
パスワード忘れて戦車錆びている

吉田州花
舟木小柳
笹田隆志
村井規子
坂本清乃
坂本清乃
坂本清乃
米山明日歌
土田雅子

【人位】

近親者のみで行う深呼吸

【地位】

中心をあなたにすると歪む円

【天位】

空高くボケない母を持て余す

↑ 持て余しているのにあつけらかんとした明るさを感じる句。

十和田たてがみ川柳会8月句会

○日時 令和7年8月30日(土) 午前10時から
○会場 十和田労働福祉会館
○参加者 木村奈生美・斉藤蛙井・白山修治・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳
○投句者 佐藤まさあき・城後朱美

■席題『襟』

福田 芳記 選

【平抜き】

お気に入りこの襟巻をいつも首
襟直す真つ直な手に棘が無い
喪服着たとたんシャキッと正す襟
チョンガールの襟はしよつちゅう黄ばんでる
永田町有権者の目襟正せ
襟元の色気にひかれ今の彼
襟元でタイを結んでくれた女
胸襟を開けば風が心地良い

白山 修治
木村奈生美
瀧尻 善英
瀧尻 善英
白山 修治
白山 修治
齊藤 蛙井
齊藤 蛙井
高田 幸柳
高田 幸柳

【秀逸】

為政者は民の目線で襟正せ

高田 幸柳

■席題『襟』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

襟元がときめく逢瀬ゆれている
襟元の色気にひかれ今の彼
ノータイも気持はキュッとお役人
為政者は民の目線で襟正せ
悩まずに話せば軽く襟開く
襟元でタイを結んでくれた女
襟足にクラクラしたら深呼吸
はつとする猛暑で襟の締め忘れ

齊藤 蛙井
齊藤 蛙井
村上 昌子
高田 幸柳
高田 幸柳
白山 修治
白山 修治
齊藤 蛙井
齊藤 蛙井
高田 幸柳
村上 昌子

【秀逸】

襟元を開き明るい今日の空
すり切れた襟を繕う終戦後

木村奈生美
福田 芳記

【特選】

胸襟を開けば風が心地よい

高田 幸柳

■宿題『塩分』

高田 幸柳 選

【平抜き】

塩分を控えて味のない暮らし
塩分を控えないと血圧計
苗育て手塩にかけた稲穂垂れ
塩かげん妻に慣らされ八十年
薄味に慣れない爺ちゃん渋い顔
酒飲みにいかの塩辛やめられぬ
塩分へ血圧計と睨み合い
薄味にまずいまずいと慣れていく
塩分と糖分せめぎ合う数値
塩加減程良く効いた握り飯
【秀逸】
塩分の薄さに妻の思いやり
結構な塩梅にする一つまみ
【特選】
塩分が「くせ強」旨いラーメン屋

城後 朱美
佐藤まさあき
白山 修治
斉藤 蛙井
佐藤まさあき
福田 芳記
木村奈生美
福田 芳記
瀧尻 善英
白山 修治
瀧尻 善英
福田 芳記
瀧尻 善英

■宿題『エプロン』

木村奈生美 選

【平抜き】

笑顔の娘たすきエプロン客迎え
新郎にエプロン贈る共稼ぎ
繁盛のエプロン姿店に立つ
娘のくれたエプロンファイトの声がする
エプロンが似合う 定年後の仕事
エプロンも衣装ダンスにしのばせる
エプロンが似合うと言われ五十年
エプロンの母の背中に目が光る
【秀逸】
割烹着一番祖母が似合います
エプロンも詰めて单身父帰る
【特選】
パンケーキ孫のエプロンよく動く

白山 修治
福田 芳記
白山 修治
村上 昌子
瀧尻 善英
村上 昌子
高田 幸柳
高田 幸柳
村上 昌子
城後 朱美
佐藤まさあき

■宿題『エキスポ』

互選

①夢洲で一夜明かした一万人
①エキスポで岡本アート爆発し
①万博は今昔の物語
②万博へ足止め課題出す自然
②万博の列が炎天下の長蛇
②エキスポの森で現実逃避する
②木の回廊 雨宿りにはもってこい
③佇まい未来の風が吹いて来る

佐藤まさあき
高田 幸柳
斉藤 蛙井
村上 昌子
瀧尻 善英
木村奈生美
福田 芳記
白山 修治

◆十和田たてがみ川柳会10月句会案内◆

【時】10月26日(日)午前10時から 【所】十和田労働
福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『がっかり』・福田芳
記選／『壁』・佐藤まさあき選 【互選】(一句詠)『乾杯』
当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当
日発表』(二句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者
から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平
72 高田幸柳宛



令和7年11月8日(土曜日)【会場】松江市殿町 島根県民会館303号室(Tel 0852-22-5506)・開場午前11時・出句締切午前12時・開会午後1時半(昼食は各自でお済ませください)【参加費】2,000円(誌上の部参加者は1,000円)【賞】上位入賞者に賞品を設けます(松江市特産品)【大賞】当日の部の最後に『誌上の部』『当日の部』の入賞句を発表の後。選者及び参加者の投票により『大賞』を決定します

□ 2026.01.31 青森県川柳年鑑「ねぶた」作品募集 2026年(第7集)

【応募資格】青森県在住または青森県内の結社に所属している方【対象作品】残しておきたい自選10句(新作、旧作問わず)/作品にタイトル(タイトル無しも可)【応募料】郵便振込 №02230-8-142889(口座名)青森県川柳連盟 / 3,000円(切手不可)・家族割(2名で4,500円)/ (郵便振込の方へは領収書は発行しないので振込控えの保管をお願いします)【応募方法】①メールで応募…件名に「ねぶた応募」メール本文(横書き)に裏面内容を入力し、<hiro-m40@amber.plala.or.jp>(守田啓子)へ送信する②郵送で応募…所定用紙(裏面・コピー可)またはA4用紙に裏面内容を楷書で明記する(送り先)〒036-8083 弘前市新里字上樋田121 きさらぎ彼句吾方 川柳年鑑係 ※作業効率を図る為、郵便振替・メールでの応募をお願いします【募集期間】2025年10月～2026年1月末日【発行】2026年5～6月予定【掲載内容】A5版の冊子に 作品・姓と柳号・住所・電話番号・所属結社(住所と電話番号の掲載は任意)/ 各大会の記録・各結社の呈賞、柳壇トピック他【問合せ】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 Tel 080-5574-9297 青森県川柳連盟

川柳の大会情報をお寄せください。

□ 2025.10.12 第60回五所川原川柳大会

【日時】令和7年10月12日(日)9:30受付(席題発表10:30)投句締切午前11時30分【会場】五所川原市中央公民館1階大ホール【会費】4000円(昼食・懇親会・発表誌)【宿題】(2句詠)『異常』北山まみどり・むさし共選『半分』菊池京・千島鉄男共選『祈り』きさらぎ彼句吾・岩崎雪洲共選【席題】(2句詠)2題『』三浦蒼鬼・高瀬霜石共選『』守田啓子・濱山哲也共選【特別課題】(1句詠)『情けない』熊谷冬鼓・川嶋翔・綿谷夕雨子・千葉かほる・福土慕情共選※投句拝辞【賞】宿・席題合点20位まで・特別課題3位まで【連絡】0173-34-3698 沢田百合子さんまで◆選者は交渉中◆大会60回の記念撮影を予定【主催】川柳岩木吟社・五所川原市文化振興会議

□ 2025.10.26 黒石川柳大会

【日時】令和7年10月26日(日)受付11時30分～/席題発表12時【場所】スポカルイン黒石2階大会議室(電話0172-53-8111)【会費】2千円(発表誌・お茶)昼食は各自でお願いします。【事前投句】「馬」1句詠(欠席投句拝辞)10月10日(金)消印有効 清記して全員選【宿題】「イントロ」むさし・にじの真美共選/「乱」千島鉄男・渡邊こあき共選/「いよいよ」野沢省悟・大田拓弥共選【席題】「」成田我楽・きさらぎ彼句吾共選※宿題・席題ともに2句詠 宿題、席題の投句締切 午後1時 ※開会は午後2時(懇親会はありません) 問い合わせと事前投句のあて先 黒石川柳社 三浦蒼鬼 〒036-0533 黒石市二双子字十川46-2 携帯090-7933-6064

□ 2025.11.08 第7回 水の都まつえ川柳大会

《「第1部(誌上の部)」【兼題】『自由吟』2句詠【選者】(6名の選者による共選)永見心咲(岡山)・西浦小鹿(鳥取)・藤田武人(大阪)・栃尾秦子(大阪)・ほか2名【締切】令和7年9月30日(火曜日)(当日消印有効)厳守【参加費】1,000円(切手不可・小為替等で)大会誌呈 ※一人何口でも参加可能です【投句用紙】投句用紙または自由用紙をご使用ください(コピー可)【賞】1句のポイント制として、上位入賞者に賞品を設けます(松江市特産品等)《第2部(当日の部)」(事前・欠席投句の受付はありません。当日出席者のみ)※選者は兼題それぞれ3名(当日発表含む)による共選【兼題】各2句詠・計6句を出句(3名選者による共選)『アナログ』永見心咲(岡山)・西浦小鹿(鳥取)・当日発表/『苦情』藤田武人(大阪)・栃尾秦子(大阪)・当日発表【開催日】

■会費拝受【8月受付分】

徳長 怜（徳島県）

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆9月末で「第30回杉野十佐一賞」が締め切られる。選者も数名入れ替わって、また新しいカラーが出てくるかもしれない。自分自身、楽しみでもある。思えば、杉野十佐一賞の選者は、尾藤三柳、橘高薫風、寺尾俊平、森中恵美子とおかじょうき川柳社代表の北野岸柳の5人だったところから、こんな大御所を全員入れ替えてしまうという、鬼畜の所業をしてしまうのだから恐ろしい（汗）これこそ、「ザ・若気の至り」というところか（笑）父である北野岸柳も、「息子の無礼をお許しください」なんて、裏で4人に詫言状でも書いていたかもしれない（汗）◆ただ、それでも、20年前、前段の4人から、石部明、なかはられいこ、樋口由紀子、広瀬ちえみの4人に選者をお願いしたことは、間違っていなかったと確信している。杉野十佐一賞の選者75歳定年制を掲げて、ひとりひとりと選者から外れてしまうのも、非常に寂しいが、次の世代へどうバトンを渡していくのか、川柳界はいまそれを試されているように感じる◆さて、話は変わって、先日、文化庁が2024年度「国語に関する世論調査」を公表した。結構、メディアでも取り上げられていたから、目にした方も多いと思うが、面白い現象とし

て、日本語が乱れているという印象のある若い世代が正しい意味を知っていて、60代以上が誤用していることもあるという結果が出ていることである。例で言うと、「役不足」の意味はどちらだろうか。（ア）本人の力量に対して役目が重すぎる（イ）本人の力量に対して役目が軽すぎる。これは、若い世代の方が正解率が高かった。正解は（イ）であるのだが、これは誤用されているケースを多く経験している年配が刷り込まれているだけで、若い世代は見聞きする機会が少ないせいもあるだろう◆我々が気をつけなければならないのは、本来の意味に囚われ過ぎることである。例えば「さんざめく」という言葉。意味としては「騒々しい」になるが、森山直太郎の「さくら（独唱）」の歌詞に「さんざめく光を浴びて」という節があり、歌詞としてはメタファーとして使っている。同じように川柳でそのような表現を見た際に、「さんざめく」の使い方が間違っているなどと騒ぎ立ててしまう危険性があるのである。騒ぎ立てなくても安易にボツにする選者がいてもおかしくない。表現の深さや広がりをおかしくしないためにも、「言葉警察」にはならないようにいつも心がけている◆Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2025.10.04 おかじょうき川柳社本社 10月句会

【日時】10月4日（土）午後2時～【所】アウガ5階小会議室【欠席投句締切】10月3日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『振る』『辺』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『関節』1句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.10.15 「川柳吟行会ば」10月吟行

【日時】令和7年10月15日（第3水曜日）14時～【合評場所】青森駅前アウガ5階【課題】『村民祭』3句提出（9/21蓬田村民民祭あり）【参加費】100円 ※会員以外の方でも参加可。

□ 2025.10.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】10月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】12/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.11.01 おかじょうき川柳社本社 11月句会

【日時】11月1日（土）午後2時～【所】アウガ5階小会議室【欠席投句締切】10月31日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『減る』『保』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『くだもの』1句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.11.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】11月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】1/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

おかげようき川柳社
http://okajoki.com

の中心に、もめてる道玄の反応、後の思ひ閉めるさし掛ける、出てくひと、ホイに、る先に、を叩くは透照、断面、死体、る生き

No.379

●発行人／むさし●編集／Sin●発行／おかじょうき川柳社●表紙題字／金子榮風

2025年10月1日発行(年12回発行) 第30巻10号通巻379号

青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-1 ●E-Mail: info@okajoki.com

おかじょうき川柳社
http://okajoki.com/